

先生 ってナニモノ?

梅津 彩音

地域人材共創センター・特命助教
学生と地域を繋ぐ立役者

地域 × 香大 解決力

全学共通科目として開講している「瀬戸内地域活性化プロジェクト」。その活動のひとつ「まんのう班」を牽引する梅津先生に、どんな想いで活動に取り組んでいるのかを尋ねました。

「ひとりじゃない」を 実感できる場所

「まんのう班」は、地域の方々と二人三脚で、まんのう町のひまわりの認知拡大に取り組んでいます。地域学習に欠かせないのは、大学を飛び出して地域に入り、そのリアルな姿を自分で見聞きすること。販売促進会に同行した際には、学生が売りたい商品が思うように売れないなど、厳しい現実に向面することもありますが、学生にはそれらの苦労も含め、様々な経験をしながら、えで地域課題の解決策を考えてもらうことを大切にしています。

このプロジェクトにおける私の役割は、地域と学生を繋ぐこと。人と人を繋ぐことは、何が起るのか予想できないので、とてもおもしろいんです。想像していた以上の爆発が起こるのを、これまで幾度も見えています。このプロ

ジェクトを通して、どんな気づきを得るのかは、学生それぞれ。その気づきが彼らの将来の糧になることを信じて、日々、可能性の種を蒔き続けています。

私は学生の頃から、地域に入って活動することが大好きです。どうしてそれほどまでに地域活動に魅了されているのかというと、「人と繋がることができるところ」からです。地域には様々な考えをもった人がいるので、一筋縄ではいかなかったことが多々あります。しかし、そういった経験から学んだことが、いまの私の考え方に生かされています。そして、世間話ができる相手や、挨拶ができる相手がいるというのは、とても豊かで幸せなことです。自分が落ちこんだ時、帰り道で何気なくかけられた「おかえりなさい」のひと言に心が救われたこともありますよ。「ひとりじゃない」と実感できるのが、地域活動の一番の魅力です。

地域人材共創センター 特命助教
うめつ あやね
梅津 彩音

福島県福島市出身。福島大学大学院人間発達文化研究科修了、福島大学つくしまふくしま未来支援センター特任専門員を経て2023年から現職。専門は地域教育、音楽教育・音楽表現。



まんのう班/ 町のイベントでの ワークショップ

フィールドワーク活動を通して、町と一緒に課題に対しての解決方法を実践。町のイベントでは香川大生のワークショップを出店し、積極的に地域の人と話をしながら課題の現状を探ります。

まんのう班のみんなから見た、 梅津先生ってこんなひと!

教育学部 学校教育教員養成課程
小学校教育コース 1年

いがしおり
伊賀 史織 (広島県立加計高等学校 出身)

地域に対する愛情と好奇心が強いひと。先生は福島出身だけれど、香川のことを地元のように愛しています!

教育学部 学校教育教員養成課程
小学校教育コース 1年

にしむらななこ
西村 菜々子 (香川県立高松西高等学校 出身)

フランクで楽しいひと。しかしプロジェクトのこととなると真剣そのもので、そのギャップが魅力です!

農学部 応用生物科学科 2年

いまむらまろ
今村 菜湖 (福岡県立八女高等学校 出身)

斬新なアイデアをもっているひと。おもしろいアドバイスをくださるので、プライベートな相談もしています!

経済学部 経済学科 2年

さくだしゅうと
福田 崇斗 (静岡県立藤枝東高等学校 出身)

さまざまな視点をもっているひと。多角的なアプローチで、まんのう班を盛り上げようとされています!

